Creative Enzymes®

ネイティブ豚アルカリフォスファターゼ

Cat. No. NATE-0059

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	アルカリフォスファターゼ（ALP、ALKP、ALPase、Alk Phos）（EC 3.1.3.1）は、ヌクレオチド、タンパク質、アルカロイドなどの多くの種類の分子からリン酸基を除去する役割を持つ加水分解酵素です。リン酸基を除去するプロセスは脱リン酸化と呼ばれます。名前が示すように、アルカリフォスファターゼはアルカリ性環境で最も効果的です。時には基本的なフォスファターゼと同義で使用されることもあります。
用途	アルカリフォスファターゼは、ELISA、ウエスタンブロッティング、および組織化学的□出のために抗体や他のタンパク質との結合に使用されます。アルカリフォスファターゼは、DNAの自己ライゲーションを防ぐためや、放射性標識にも使用されます。
別名	アルカリフォスファターゼ; ALP; ALKP; ALPase; アルクフォス; EC 3.1.3.1; アルカリフォスホモノエステラーゼ; グリセロフォスファターゼ; フォスフォモノエステラーゼ

製品情報

種	豚の
由来	豚の腎臓
形態	トリス-HClバッファーから凍結乾燥され、塩化マグネシウムおよび塩化亜鉛を含み、pH 8.0
EC番号	EC 3.1.3.1
CAS登□番号	9001-78-9
活性	100-300 DEA単位/mgタンパク質
単位定義	1ユニットは、37°Cでの pH 9.8の条件下で1.0μモルのp-ニトロフェニルリン酸を1分あたり加水分解します。

使用法とパッケージング

包装	DEAユニットに基づくパッケージサイズ

保管・発送情報

保存方法	−20°C